

ツナガル！ヒロガル！ 〈ろうきん〉運動の

輪

今回の運営委員会

島田支店

島田支店運営委員会 (13人)

運営委員会とは…会員(組合)の代表者と(ろうきん)の営業店長などで構成される組織。会員の構成員(組合員)の声が反映された〈ろうきん〉の商品やサービスづくり、組合員の生活の維持・向上に〈ろうきん〉を役立てる施策を企画・展開している。

このコーナーでは毎回、独自の活動を展開する運営委員会の様子を紹介していきます。

島田支店運営委員会の特長を一言お願いします

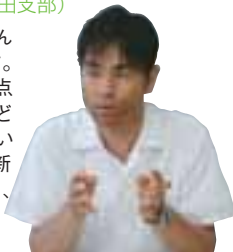
●運営委員長 前田武志さん (東海パルボ労働組合)

運営委員会の事前準備として、副運営委員長と各ブロック長と支店長で、3役会議を開いています。慣れ親しんだメンバーなので、本音で議論できていてと感じています。それを運営委員会の議題としていくのが、ここ3年のスタイルになっています。



●副運営委員長 伊藤章一郎さん (全矢崎労働組合島田支部)

女性の運営委員さんが3人もいるんです。女性ならではの視点で、質問や意見をどんどん発言いただいています。慣れない新任の運営委員さんも、助かっています。



●榛北ブロック長 福門隆弘さん (大井川鉄道労働組合)

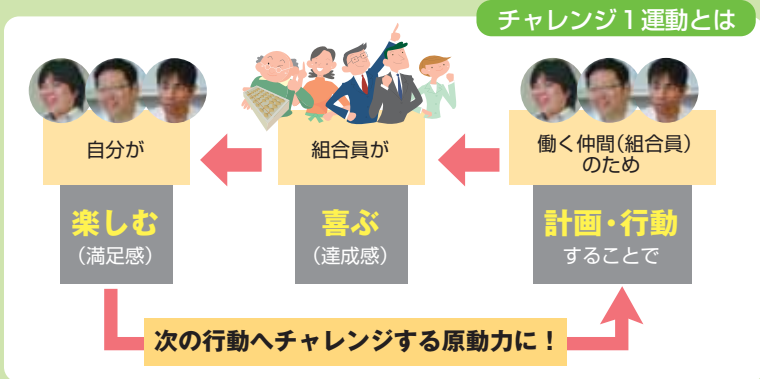
司会を持ち回りにしたり、分散会を行う等、運営委員一人一人が話をする機会が多いんです。分散会では、活動報告に留まらず、お互いに質問や意見を交わす等、活発な議論がされています。



組合員のために何ができるか？

運営委員長になってから、島田支店運営委員会の活動について、いろいろ議論、試行錯誤した結果、「運営委員会の活動は、組合員の幸せのためにある。」という結論に行き着いたんです。

そこで、チャレンジ1運動では、「組合員のために何が出来るか」考えてもらうことから始めました。今までの活動から一歩踏み込んで、一つの組織だけではできないことも、(ろうきん)と一緒に「チャレンジ」して行きたい(欲しい)んですよ。



！島田支店運営委員会が
取り組む
チャレンジ1運動

一方で、チャレンジ1運動は、マイプランO件など、数字の目標を決めて取り組むものではありません。ですが、長い目で見て、組合員の幸せのために活動していけば、その結果、数字もついてくるはずです。実際、地域の一組織(会員)に〈ろうきん〉の取組について要請するのであれば、「組合員のためにやる」ということなら、異論を唱える人はいないと思います。それを、チャレンジ1運動と

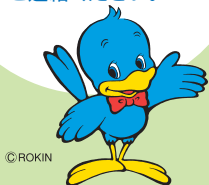
運営委員会の活動では、(ろうきん)の営業店の目標や数字を意識することも大切です。それがあって、(ろうきん)の事業、商品・サービスが成り立っているからです。

「自分の組織に合った形で、いろんなやり方ができる。実情にあった取り組みをしてくればいい。(ろうきん)に関することならなんでもいい。」それがチャレンジ1運動なんです。

生活を守り、良くしていくには、財形やエース預金などの積立で資産形成すること、ローンの見直しをする等、いろいろな方法があります。それを、ティッシュ配りでも、ポスターを貼ってくれるだけでもいいんです。働く仲間のために作られた商品・サービスが(ろうきん)にあるから、それを知ってもらおう機会を増やすだけいいんです。

例えば、私達の組織では、組合員が、人生のライフプランを計画的に過ごせるよう、マネープラン、ライフプランセミナーの企画・開催など、お金に関する気づきの機会を増やすことを課題にしています。もちろん、チラシやティッシュを配ることもその一環です。知ってもらって、生活が変わるかもしれないですからね。

このコーナーでは、運営委員会の活動を紹介します。「取材に来て欲しい」「ミーツに載りたい」という運営委員会へ、ぜひミーツ編集室へご連絡ください。



島田支店運営委員会は、チャレンジ1運動をさらに深く、「(ろうきん)支援活動」として、2009年度の活動に取り組みんでいます。

前田運営委員長は、昨年から始まった経済危機の影響で、毎月、ボーナスの減少がされる等、勤労者の生活にとって厳しい環境が続いていることを指摘し、このような時だからこそ、(ろうきん)と運営委員会が中心になって、地域全体の勤労者に向けて、役割発揮していきたいと語ります。

！今年度は
チャレンジ1運動を
深化させる

いう方法で、理解、実践してもらえたらと思っています。